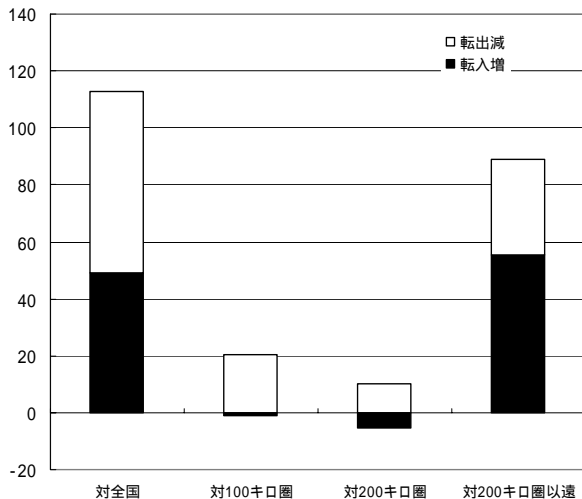


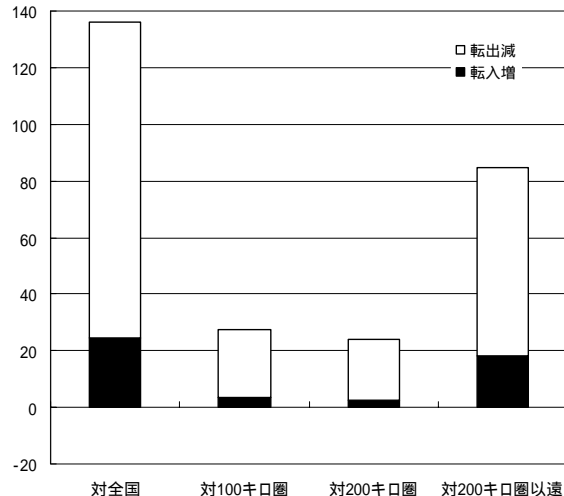
指標：東京圏の人口の転入超過数(距離帯別)

1980年代と90年代の東京圏への人口集中の要因を距離帯別、転出転入別にみると、対200キロ圏以遠からの転入超過は、80年代には60%以上が流入の増加によるものであったのに対し、90年代は75%が転出の減少によるものである。80年代の東京圏への人口集中が「人が入ってきた型」であったのに対し、90年代のそれは「人が出ていかない型」となっている。

(千人) 東京圏への転入超過数増加(1980～1987)の距離帯別要因



(千人) 東京圏への転入超過数増加(1994～2002)の距離帯別要因



(出典) 総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告年報」をもとに国土交通省国土計画局作成。

(注) 100キロ圏とは茨城県、栃木県、群馬県、山梨県であり、200キロ圏とは福島県、新潟県、長野県、静岡県を指す。